

11 月例会 【坂ノ途中様講演会】

11 月 17 日 於 京都府産業支援センター 5 階研修室

株式会社サカテック 坂下 浩一

11 月 17 日(木)に、京都府産業支援センターにて株式会社坂ノ途中の小野邦彦社長による講演会を開催させて頂きました。

今期会社訪問研修委員会は「今こそ、その一步を～理想の姿に近づくために～」のテーマの元、活動しております。今期 3 回目となる今回の例会は、「一步踏み出さずにいられなくする～Part1～」として異業種企業で活躍されている社長をお呼びし、行動せずにはいられなくなるような刺激を頂く会にしたいという思いで企画いたしました。坂ノ途中様は「100 年先もつづく、農業を。」というビジョンを掲げ、環境負荷の小さい農業を実践している農家さんの野菜を、市場を介さず直接一般消費者にネット販売するという事業を展開されております。小野社長は 20 代半ばで起業され現在に至るまで次々と行動を起こされています。

例会は二部構成で第一部は小野社長による自社や事業紹介のご講演を行って頂きました。真面目で物静かに見える小野社長ですが、いざ話し始めるととてもフランクでユーモアも交えながらざっばらんに話される小野社長に参加者はどっと沸きながらそのお話にどんどんと引き込まれて行きました。野菜の流通事情や新規就農者の実態など一般メディアではなかなか知りえない生の情報を知ることができましたし、急角度の成長を狙っている小野社長の工夫された資本政策にはただただ凄いと言うしかありませんでした。また次々と行動を起こされている小野社長らしく、準備するだけで行動を起こさない準備のプロになってはいけないという言葉が耳に痛かったですが、確かにその通りであると納得するしかありませんでした。

第二部は講演では語り切れなかった小野社長の思いを、インタビュー形式にて迫って行きました。「行動の原動力は何か。」という質問に対して「モチベーションは幻想だと思った方がいい。」という言葉がとても深く刺さりました。自分の気持ちなど気にせず自分の使命を果たすために淡々と日々行動し続けるだけであるとの事ですが、なるほどと思うと同時に誰でも簡単に出来る事ではなく、小野社長の凄さを実感しました。また自分が変わり、それを周りに見せる事で全体への変化を促しているという所も大変共感しました。人を変えるにはまず自分が変わる、ありきたりですがそれをまさに実践されておられました。理想の経営者像はどんなものかという問いに対しては、ロールモデルを複数持つておくべき、一つだと劣化コピーになってしまうという回答も印象的でした。

全体を通して独特の雰囲気を出す小野社長ですが、その行動力には脱帽するしかなく、私自身本当に一步踏み出さないとこれはまずいという気持ちになりました。参加された皆様が私と同じ気持ちになっておられましたら、当例会の開催意義を感じる次第であります。多忙を極める中講演をして頂きました小野社長、場所を提供いただいた京都産業 21 様、ご参加下さった会員の皆様に厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

